

総合政策部

政策調整室

政策課

1 組織、管理事務等の改正（令和5年度改正分）

令和5年度は、第5次三田市総合計画に基づくまちづくりの着実な推進を図るとともに、特定の政策課題の積極的な推進及び新たな行政課題等への取り組みに主眼を置いた見直しを図った。

(1) 「監」の廃止（危機管理監を除く。）

特に重要な政策課題を重点的に推進するため設置した「監」の内、危機管理監を除き、「広報・交流政策監」については「三田市観光ビジョン」の策定・事業の推進や市ホームページのリニューアル、「医療政策監」については「三田・北神地域の急性期医療の確保に関する基本構想」の策定や市民病院の医療体制の充実、「情報政策監」については「さんだ里山スマートシティ構想」の策定・事業の推進など、一定の成果があり、それぞれの取り組みの方向性を示すことができたことから、組織をフラット化し政策推進の迅速化を図るため廃止する。

(2) 特定の政策課題の積極的な推進

ア ゼロカーボンシティへの挑戦

「まちの再生部」にゼロカーボンシティ推進等の環境政策を所管する「環境政策担当」を置くとともに、「同部ゼロカーボンシティ推進室 環境創造課」に「ゼロカーボンシティ推進担当」を置き、ゼロカーボンシティの実現に向けた取り組みを積極的に推進する。

イ さんだスタートアップシティの推進

「地域共創部」にスタートアップシティ推進等の産業振興を所管する「産業振興担当」を置き、第三テクノパークの整備を促進するとともに、誰もが起業・創業にチャレンジできるさんだスタートアップシティの取り組みを積極的に推進する。

ウ 地域医療提供体制の一体的な推進

「総合政策部」に地域医療推進を所管する「地域医療推進担当」を置くとともに「地域医療推進室」を設け、急性期医療をはじめとする地域医療提供体制を一体的に推進する。

(3) 新たな行政課題等への取り組みの推進

ア アウトドアによる新たなまちづくりの推進

「総合政策部 未来戦略室」に「アウトドア交流推進課」を創設し、三田市野外活動センターや自然豊かな千丈寺湖畔の観光資源を基軸としてアウトドア交流都市の基盤を整えるとともに、2025年に開催される大阪・関西万博を契機として本市の魅力発信や地域活性化に資する取り組みを積極的に推

進する。

イ 市街化調整区域活性化の推進

「都市政策課」に「市街化調整区域活性化担当」を置き、市街化調整区域における開発許可制度の弾力的運用のほか、上記①と連携した市内北東部の豊かな自然環境を活かしたアウトドア交流による賑わいの創出など、市街化調整区域の活性化に関する取り組みを推進する。

ウ 子ども家庭センターの設置による子ども施策の推進

令和5年4月からのこども家庭庁の発足及びこれに合わせた関係法令の制定・改正により令和6年4月から市町村に設置が努力義務化された「こども家庭センター」について、1年先んじて令和5年4月から「子ども未来室」に同センターを設置し相談体制の強化を図るなど、子ども施策を一元的・一体的に推進する。

エ 相談支援体制の強化による孤独・孤立対策の推進

一体的かつ効果的な孤独・孤立対策をより一層推進するため、「共生社会部福祉共生室」に「孤独・孤立対策担当」を置く。合わせて「暮らしの安心課」が所管する福祉総合相談窓口組織横断的な調整・管理を行う相談支援マネージャー機能を追加し、生活困窮者自立支援及び権利擁護・成年後見支援業務とともに「地域福祉課」に移管し、多機関協働による相談支援体制の強化を図る。

オ 組織横断的な取り組みによる交通政策の推進

「まちの再生部都市政策室」に「交通政策担当」を置き、次世代モビリティや高齢者の外出支援など市民の移動手段確保に向けて組織横断的に取り組み、交通政策を積極的に推進する。

カ 消防指令業務の共同運用による消防体制の強化

「消防本部」の次長級に「指令共同担当」を置くとともに、「同本部警防課」に「指令共同担当」を置き、神戸市との消防指令業務の共同運用の円滑な実施に向けた取り組みを推進し、消防体制の強化を図る。

キ 森林及び里山整備の円滑な推進

「地域共創部 産業戦略室 農村再生課」が所管する森林法に関する事務の一部を「まちの再生部ゼロカーボンシティ推進室里山のまちづくり課」に移管し、森林及び里山整備の円滑な推進を図る。

2 庁議等

(1) 政策会議

各施策・事業の方針等に関する合議制による最高意思決定機関（開催36回、議題57件）

(2) 部長等連絡調整会議

意思決定事項について円滑に執行するための連絡調整を行う場（開催11回、議題59件）

3 まちづくり基本条例の具体化の取り組み

前年度（令和3年度）に実施した市民意見を聴く手続の実施状況について検証し、公表を行った。

(1) 三田市市政への市民参加条例の運用状況

ア 市民意見を聴く手続の実施状況

対象事項（7条）	市民意見を聴く手続（8条）
(ア) 市の憲章、宣言等 (イ) 市の総合計画その他市政における基本的な事項を定める計画等 (ウ) 市政における基本的な事項を定める条例 (エ) 義務を課し、又は権利を制限することを内容とする条例 (オ) 上記に掲げるもののほか、市民の生活に重大な影響を及ぼすおそれがあると市長等が認める制度、事業等	ア 附属機関 （公募・名簿委員の割合が3割以上） イ パブリックコメント （30日以上） ウ 意向調査 エ ワークショップ オ 公聴会 カ 意見交換会 キ その他の手続
<上記の例外> ・市税の賦課徴収その他金銭の徴収に関するもの ・市長等の裁量の余地がないもの ・市長等の機関内部の事務処理に関するもの ・関係法令の改正に伴う規定の整備その他軽易なもの ・緊急に行わなければならないもの	

【運用状況】

	第5次三田市総合計画	さんだ里山スマートシティ構想	三田市文化芸術ビジョン
種別	基本的な計画	基本的な計画	基本的な計画
区分	改正	新規	新規
作業期間	令和2年度～令和3年度	令和3年4月～令和4年4月	令和元年12月～令和4年3月
計画期間等	令和4年度～13年度	令和4年～令和8年	令和4年～令和13年
市民意見を聴く手続	意向調査 ワークショップ 附属機関 パブリックコメント	意向調査 ワークショップ パブリックコメント	意向調査 パブリックコメント

	第5次三田市農業基本計画	三田市立幼稚園再編計画	三田市人権を尊重し多様性を認め合う共生社会を目指す条例
種別	基本的な計画	市民生活に重大な影響を及ぼす制度等	基本的な条例
区分	改正	新規	新規
作業期間	令和3年度～令和4年度	令和2年度～令和3年度	令和2年度～令和3年度
計画期間等	令和4年度～令和13年度		令和4年度～
市民意見を聴く手続	意向調査 パブリックコメント	意見交換会 パブリックコメント	意向調査 ワークショップ パブリックコメント

	第3次三田市地域福祉計画	(仮)第2次三田市食育推進計画	フラワータウン再生ビジョン
種別	基本的な計画	基本的な計画	基本的な計画
区分	改正	改正	新規
作業期間	令和3年度～令和4年度	令和3年度～令和4年度	令和3年度
計画期間等	令和5年度～令和9年度	令和5年度～令和9年度	令和4年度～令和13年度
市民意見を聴く手続	意向調査 ワークショップ パブリックコメント	意向調査 パブリックコメント	意向調査 意見交換会 パブリックコメント

	三田市新ごみ処理施設整備基本計画	第3期三田市教育振興基本計画
種別	市民生活に重大な影響を及ぼす制度等	基本的な計画
区分	新規	改正
作業期間	令和2年度～令和3年度	令和2年度～令和3年度
計画期間等	令和3年12月～令和9年度	令和4年度～令和8年度
市民意見を聴く手続	附属機関 パブリックコメント	意向調査 パブリックコメント その他

イ 市政参加市民名簿の登録状況と活用実績

<名簿登録状況>

	発送数	登録者数				名簿登載期間 (条例上 2年以内)
		総数	男	女	備考	
令和 2年度	3,000	245	143	102	令和4年 3月末時点	令和4年 11月末まで
令和 3年度	1,800	143	76	67	令和4年 3月末時点	令和5年 10月末まで
計		388	219	169		

【市政参加市民名簿活用状況】

附属機関等に選任 28人

ワークショップ等 4件

ウ まちづくり提案

0件

4 第5次三田市総合計画とSDGsの推進

第5次総合計画では、これから10年間のまちづくりの大切な理念の一つとして、SDGsの推進を掲げ、積極的に取り組んでいる。「誰ひとり取り残さない」「持続可能」「パートナーシップ」というSDGsが目指す理念は第5次総合計画によるまちづくりの理念と通じており、目標年次もほぼ同時期（総合計画：2031年度、SDGs：2030年）であるなど、相互に共通している。

(1) 市民へのSDGs参加型普及啓発

ア わたしのSDGs宣言キャンペーン

SDGsの視点で日常を振り返り、ゴールの達成に繋がる自ら実践したい身近な取り組みを宣言、実践、皆の取り組みを見える化する。

(ア)実施概要

	期間	内容
宣言期間	令和4年7月15日～ 令和4年10月31日	SDGsを意識し、一人一人が取り組めることを宣言
実践期間	宣言～ 令和4年11月15日	自ら宣言したことに取り組む
評価期間	令和4年11月15日～ 令和4年11月30日	自らの取り組みを自己採点し、市へ報告
実感期間	令和4年12月1日～ 令和4年12月25日	皆の宣言や取り組みを共有し、さらなる意欲を高める

(イ)宣言提出部数 約900件

イ 種をまこう！さんだの未来とSDGsワークショップ

SDGsの取り組みを宣言し、実践を始める機会とする。

(ア)実施日時 令和4年8月20日

1 回目 10 : 00 ~ 12 : 00

2 回目 13 : 30 ~ 15 : 30

(イ)参加人数 午前の部 23名 午後の部 20名

ファシリテーター 7名 計 50名

(ウ)実施内容 SDGsと三田の課題や取り組みとの関わりを理解する。

自分が行いたいゴールや行動を宣言する。

他者の宣言を共有し、さらなる取り組みへ繋げる。

ウ 「わたしたちのSDGsさんだの木」栽培ワークショップ

提出された「わたしのSDGs宣言」を市役所本庁舎1FにわたしたちのSDGsさんだの木として展示するワークショップを開催。

(ア)実施日時 令和4年12月4日 11 : 00 ~ 12 : 00

(イ)参加人数 15名 (市内在学生等)

(ウ)実施内容 わたしたちのSDGsさんだの木作製

エ 「わたしたちのSDGsさんだの木」展示

(ア)市役所展示 令和4年12月5日~令和4年12月25日

市役所本庁舎1Fロビー

(イ)イベント展示 令和5年1月21日

さんだゼロカーボンシティフォーラム会場

(2) SDGs企業セミナー (みなと銀行共催)

三田市を中心に活動している企業・事業者を対象としたセミナー。SDGsの基本理解から実践に向けたポイントを学ぶ。

(ア)実施日時 令和4年11月30日 14 : 00 ~ 15 : 30

(イ)参加人数 23団体 40名

(ウ)実施内容 第一部 講演「未来に向けたサステナブル経営の実現」

ーSDGsの基本理解から実践に向けたポイントを学ぶー

第二部 ひょうご産業SDGs推進宣言事業の登録企業に

よる事例発表&座談会

(3) SDGs職員研修

各所管課が自らの業務をSDGsの視点で捉えることで、SDGsの取り組みの発信、効果的な手法を考える。

(ア)実施日時 令和4年6月21日

午前の部 10 : 00 ~ 12 : 00

午後の部 13 : 30 ~ 15 : 30

(イ)参加人数 午前の部 27名 午後の部 28名 計 55名

(ウ)実施内容 講演「SDGsに関する動向とSDGs未来都市について」

ワーク「SDGsを意識した『見せ方』について」

秘書広報課

1 市長、副市長の秘書

- (1) 市長、副市長の日程調整及び随行
- (2) 市公式ホームページ「市長のページ」への日程、メッセージ等の掲載

2 渉外及び交際

(1) 三田市議員待遇者

三田市議会議員待遇者規則により、2期8年（通算）以上議員経験のある者に対し議員待遇者き章を贈呈し、規則に定める待遇を行う。

三田市議員待遇者数20名

(2) 交際費（令和4年度執行状況）

内 訳	件 数	金 額
弔 慰	11件	115,500円
贈答・記念品	7件	39,139円
接 遇	0件	0円
会 費	10件	59,500円
計	28件	214,139円

3 市の儀式、叙勲、褒章及び表彰

(1) 市制記念式典

市制施行60周年までは、毎年7月1日の市制施行記念日に記念式典を開催し、あわせて三田市表彰の贈呈式を行っていたが、事業の見直しにより今後は節目の年に式典を行うこととし、令和4年度は式典を行っていない。

(2) 栄典（叙位、叙勲及び褒章）

地方自治功労に係る受章候補者の上申（春秋叙勲、死亡叙勲ほか）等を行う。

ア 叙勲・叙位

- | | |
|-------------|-----------|
| (ア) 春秋叙勲 | 1件（中田 初美） |
| (イ) 死亡叙勲・叙位 | 0件 |
| (ウ) 高齢者叙勲 | 0件 |

イ 褒章

なし

(3) 三田市表彰、さんだチャレンジャーズアワード

三田市表彰規則に基づき、三田市表彰選考会を経て受賞者を決定し、表彰状及び副賞を授与する。平成30年度から市制施行60周年を記念し、新たな表彰制度「さんだチャレンジャーズアワード」を創設。

表彰選考会：令和4年5月11日（水）午後1時～（市長公室）

表彰式「感謝と飛躍へのつどい」:

令和4年7月1日(金)午後5時～市役所本庁舎3階302会議室

令和4年度三田市表彰・さんだチャレンジャーズアワード受賞者(敬称略)

表 彰	功 労 ・ 分 野	個 人	団 体
三田市さつき賞	自治・社会福祉	萩原 健久	
	自治・社会福祉	吉田 孝	
	社会福祉・防犯	小林 孝	
	社会福祉	丸山 敏勝	
	社会福祉	森本 睦子	
	産業	丹羽 勝	
さんだチャレンジャーズアワード	スポーツ	岡田 蒼空	
	スポーツ	岡田 希愛	
	スポーツ	岡田 結愛	
	スポーツ	片伊勢 武 アミン	
	スポーツ		三田学園弓道部
	スポーツ	西岡 瞳	
	スポーツ	山名 里奈	
	文化	齊藤 萌衣	
	文化	富田 誠也	
	文化	丸尾 宏一	
	文化	ミチコ	

4 市長会及び副市長会

令和4年度に市長及び副市長等が出席した主な会議

(1) 全国市長会／総会：年1回、全国都市問題会議：年1回

6月1日	第92回全国市長会議(通常総会) (東京都・ホテルニューオータニ)
10月13日 ～14日	第84回全国都市問題会議 (長崎県・出島メッセ長崎)

(2) 兵庫県市長会／総会：年2回

4月20日	第1回総会(神戸市・ポートピアホテル)
9月29日	第2回総会(洲本市・ホテルニューアワジ)

(3) 阪神・丹波市長会／年1回

11月21日	阪神・丹波市長会(尼崎市・都ホテル尼崎)
--------	----------------------

(4) 兵庫県副市長会／年２回

4月8日	第1回副市長会（西宮市・ホテルヒューイット甲子園）
8月24日	第2回副市長会 （神戸市・神戸メリケンパークオリエンタルホテル）

(5) 阪神・丹波副市長会／年２回

7月28日	第1回副市長会（尼崎市・ホテルヴィスキオ尼崎）
2月3日	第2回副市長会（尼崎市・都ホテル尼崎）

(6) 県・市町懇話会：年２回

4月26日	第1回県・市町懇話会（神戸市・県公館）
1月23日	第2回県・市町懇話会（神戸市・県公館）

5 名誉市民

三田市名誉市民条例に基づき、公共の福祉の増進他の功績が卓絶する者に対して、議会の同意を得て市長が決定し贈る称号である。三田市名誉市民証及び三田市名誉市民章をあわせて贈呈する。また、市長は特に親善その他の目的で市の賓客として来訪した者に対し、三田市特別名誉市民の称号を贈ることができる。三田市特別名誉市民証及び記念品をあわせて贈呈する。

- (1) 三田市名誉市民 受章なし
- (2) 三田市特別名誉市民 受章なし
- (3) 過去の受章者

称号	年度	受章者
特別名誉市民	平成11	コリーン・カイク氏（オーストラリア・ブルーマウンテンズ市）
		ジェリー・ウィリアムズ氏（アメリカ合衆国・キティタス郡）
		宋奉奎氏（大韓民国・北済州郡、現済州市）

6 広報誌の発行

広報誌「広報さんだ」を発行する

(1) 広報誌「広報さんだ」の発行状況

- ア 発行日：毎月1日に定期発行（年間12回）
- イ 内訳： 32ページ（全頁カラー 3回）
36ページ（全頁カラー 5回）
40ページ（全頁カラー 4回）
- ウ 規格：A4判冊子型
- エ 発行部数：48,500部（R5.3現在）
- オ 全戸配布数：46,899部（R5.3現在）

※配布については、三田市シルバー人材センターへの宅配委託事業

で平成25年度から実施

(2) その他の媒体を使った広報誌の配布

ア 市ホームページ

広報誌を掲載（PDFファイル）

イ 声の広報

音訳ボランティア「ともしび」により、毎号の内容をCDに吹き込み、視覚障害者へ声の広報として届けている。

ウ 「ユニバーサル」広報

市政情報やくらしの情報などを動画（音声・字幕・手話あり）で発信。市ホームページに掲載するほか随時 Facebook への投稿を行う。また、上記イの音声データを市ホームページに掲載（R1.8～）。下記エも「ユニバーサル」広報の一環として導入。

エ 多言語対応アプリ「カタログポケット」

広報誌「広報さんだ」を9言語の音声読み上げ、自動翻訳するアプリを活用して配信。（R2.9～）

オ マチイロ

スマートフォンで各自治体の広報誌やニュースを閲覧できるアプリに、広報誌を掲載（PDFファイル）。

カ マイ広報誌

自治体等が発行する広報誌を記事ごとにデータ化（文字情報のみ）し、インターネットで無料配信するサービスに、広報誌を掲載（PDFファイル）。

キ HYOOGO ebooks

兵庫県内の電子書籍を無料で閲覧できる、地域特化型電子書籍ポータルサイトに、広報誌を掲載（PDFファイル）。

(3) 広報モニター制度の活用

人数：公募の市内在住・在勤・在学の16歳以上 338人（R5.3現在）

内容：広報誌に対するアンケート回答

7 コミュニティFMラジオを活用した広報

(1) 広報番組（R5.3現在）

ア 「モリモリSANDA」

（第1水曜の18時～18時20分と翌土曜の10時～10時20分再放送）

森哲男市長が出演し、市政について分かりやすくお伝えする広報番組

イ 「さんだ 学び・子育て情報局」

（第1・3月曜の12時～12時10分）

- 市職員が、子育てや教育に関する情報を分かりやすく話す広報番組
- ウ 「三田歴史通信」
(第1木曜の15時10分～15時20分)
市職員が、三田市の歴史のこぼれ話・郷土学習に関する取り組みやサービスなどについて分かりやすくお伝えする広報番組
- エ 「スマイル人権」
(第2木曜の15時10分～15時20分)
人権に関するイベントや啓発講座など、自己啓発のための情報をお届けする広報番組
- オ 「校区すみからすみまで！」
(第1・3・5土曜の10時45分～10時50分、翌日曜の19時から19時5分と翌月曜12時45分～12時50分再放送)
三田市内にある全小学校(20校)の児童が、学校や校区のことを生放送で紹介する広報番組
- カ 「賢い消費者になりましょう」
(第3月曜の15時10分～15時30分)
消費生活センターの相談員や市職員が、消費生活に関する話題を解説する広報番組
- キ 「SUNだなヒト。」
(偶数月第3火曜の15時10分～15時25分)
地域で活動されている市民にスポットを当て、地域の魅力とともに紹介する広報番組
- ク 「さんだ「学び×体験」ナビ～とっておき！イベント情報～」
(第3水曜の15時10分～15時20分)
市が実施する、さんだで「学んで」・「体験」できる各種イベントを情報を紹介する広報番組
- ケ 「教えて！スター☆シニア」
(第3木曜の15時10分～15時20分)
学びに！趣味に！仕事に！シニアがいきいきと活躍する姿や、健康に過ごすための情報をお届けする広報番組
- コ 「こちら三田市消防本部」
(第4木曜の15時10分～15時30分)
消防本部職員が、日常の火災予防や応急手当の基礎知識などのほか、消防本部の取り組みについてお伝えする広報番組
- サ 「Sanda-full SANDA 来て！見て！寄って！さんだの魅力イチオシ情報」
(第4木曜の16時5分～16時15分)
魅力的な人・グループの活動、味覚、行事などの紹介を通じてさんだの魅力と元気をお届けする広報番組
- シ 「備えあれば憂いなし」

(6月・8月・9月・1月の第2木曜の16時5分～16時25分、同月内に再放送有り)

地震や台風などの災害に対して、日頃の備えや対策などのポイントの紹介や、市が行う防災施策についてお伝えする広報番組

ス 「魅力がたくさんだ！～三田のまちづくり×SDGs～」

(奇数月第3火曜の15時10分～15時25分)

第5次三田市総合計画によるまちづくりと、まちづくりを進める視点となるSDGsについてお伝えする広報番組

(2) 広報CM

「三田シティインフォメーションCM」

(毎日1回16時頃放送)

20秒間のスポット告知CMを放送し、市政情報やシティセールス推進を目的とした情報を発信

(月ごとに1種類、年間12種類)

8 ホームページ等を活用した広報

(1) 「ホームページ」

令和4年3月31日に、「知りたい情報を見つけやすく」をコンセプトに三田市公式ホームページをリニューアル。最新情報を分かりやすく発信、三田市の魅力を市内外に向けてPR。トップページに「サイト内検索」や「簡単手続き検索ナビ」なども配置し、ページ検索の向上を図る。新型コロナウイルス感染症ポータルサイトをホームページ内に構築し、コロナに関する情報を発信。

アクセス数：6,791,766件(年間)、565,981件(月平均)

(2) 「フェイスブック」

平成23年10月から市公式Facebookを開設。市ホームページの補完的位置付けとし、イベント情報や動画など、交流促進につながる魅力ある情報を発信している。災害時などは、緊急情報なども発信する。

(3) 「三田市LINE公式アカウント」

令和3年10月18日から「暮らしに役立つ情報を届ける」というコンセプトのもと、緊急情報の一斉通知や、利用者の属性や希望する情報に応じたプッシュ型の情報配信で活用。

友だち登録者：8,132件(R5.3.31現在)

9 広報掲示板を活用した広報

公共施設や公園、主要各駅ターミナルに設置した広報掲示板(32カ所)に、市のイベントや啓発ポスターなどを掲示している。

貼付ポスター：年間15種類

10 新聞やテレビ・ラジオなどを通しての広報

- (1) 市長記者会見（13回）、記者発表
- (2) 週間行事予定表の配布
- (3) 市政記者クラブ、テレビ、ラジオの取材協力

11 その他の広報

ニュースダイジェストの作成

12 案内地図「わがまちさんだ」の配布（R4.11発行）

市内案内用地図と三田の魅力や取り組みの紹介、市内7事業者の有料広告を掲載

- (1) 発行部数：20,000部
- (2) 活用：転入者に配布、公共施設の窓口で希望者に配布、各市視察・会議等で配布

13 市政刊行物の発行状況の把握

市政刊行物の発行状況等を把握するため登録番号を付し、効果的な広報の推進を図る。

- (1) 登録件数：111件
- (2) 登録内容：広報誌8件、小冊子19件、書籍9件、チラシ28件、ポスター17件、リーフレット29件、地図類1件

14 市政出前講座

市民の要請により市職員が出向き、市政のしくみや制度、手続き、事業などをわかりやすく説明し意見交換をする中で、市民の市政理解や関心を高め、行政と市民の協働のまちづくりを推進する。

〔事業概要〕

- (1) テーマ数：54項目
- (2) 開催方法：市民主体の講座として開催。市民が各講座の担当課に申し込み、調整のうえ開催
- (3) 開催実績：53回 1,592人が参加
- (4) 主な受講テーマ：「市民病院のこれからについて」、「健康講座」「いざという時に備えて」など
- (5) 主な受講団体：地縁団体（自治会、老人会など）、高校生など

未来戦略室 若者のまちづくり課

1 産官学地域連携推進事業

高等教育機関や企業等が有する豊かな人的、知的、物的資源を地域社会の課題解決に活かすため、市内外の大学、企業等と取り組みを進めた。

(1) 関西学院大学

「連携協力に関する協定」に基づき、下記事業を実施した。

ア 授業「情報化社会と人間」：三田市をフィールドに、学生が地域課題の解決策を考える総合政策学部等1～2回生対象の授業に当課職員がメンターとして参加。

イ その他、市との連携・協力事業 30件

ウ オープンセミナー

①春季

日時：令和4年7月2日（土）、7月9日（土）、8月27日（土）

場所：まちづくり協働センター 多目的ホール

参加人数：145人

②秋季

日時：令和4年10月20日（木）～11月30日（水）

開催方法：新型コロナウイルス対策によりオンライン開催

受付人数：72人（視聴回数：658回）

(2) 湊川短期大学

「連携協力協定」に基づき、連携・協力事業 8件を実施した。

※ 市民大学は、新型コロナウイルスの影響により中止となった。

(3) その他の連携協定

ア 大学等（連携事業件数）

①神戸親和女子大学（4件）

②神戸医療福祉専門学校三田校（4件）

③兵庫教育大学（5件）

イ 企業

①株式会社ネクイノ（令和4年4月5日協定締結）

②株式会社みなと銀行（令和4年7月4日協定締結）

③マックスバリュ西日本株式会社（令和4年8月2日協定締結）

④株式会社アナザーワークス（令和5年1月30日協定締結）

(4) 学びのまち・三田推進事業

市内外の学生が三田のまちに集い、学生の自由な発想に基づいた自主的な活動が活発に行われる「学生が成長できるまち三田」を目指した事業を実施。

ア 学びの都三田づくり支援団体補助

採択団体：こみんか学生拠点

補助金：277,397円

イ 三田学生サミット（発表会&交流会）

企画・実施 : こみんか学生拠点
日時 : 令和5年2月11日(土) 対面にて開催
発表団体 : 15団体
交流会参加者 : 学生26人、社会人48人(合計74人)

ウ 学生への食品無償支援

経済的に困窮する市内で一人暮らしをする学生に対して、NPO法人場とつながりの研究センターと連携し、食品支援を継続的に行っている。なお、配布食品・食材は市内農家、企業、市民などからの寄付によるもの。

①フードドライブ

日時：令和4年6月12日(日)、令和4年11月6日(日)

場所：スーパーマルナカ

食品寄付者：57人

②さんだまんぷくプロジェクト

日時：令和4年6月24日(金)～25日(土)、7月7日(木)、11月11日(金)～12日(土)、11月17日(木)

場所：市役所本庁舎1階ロビー、広野市民センター、湊川短期大学

受取人数：643人

(5) 青少年健全育成事業(二十歳を祝う会)

日時場所：令和5年1月8日(日) 郷の音ホール

対象：平成14年4月2日～平成15年4月1日生まれの者

対象人数：1,110人 参加者：731人(午前423人・午後308人)

※新型コロナウイルス感染対策のため、2部制で実施。

その他：名称を「成人式」から「二十歳を祝う会」に変更した。企画・運営のアイデアとサポートを求めるために「二十歳を祝う会サポーター」を募集。応募した5人が、一部企画の検討や代表あいさつ等を行った。

2 移住UIJターン促進事業

(1) 移住ポータルサイト(さんだうえるかむサイト)の運営

(2) 移住相談窓口「Sanda住まいる」

三田を広くアピールし、新たな移住定住ニーズに応えるため、一元的な移住定住相談窓口を設置している。令和4年度は155件の相談(窓口・電話・オンライン相談)があった。

(3) さんだ住まいるチームメンバー

三田市に転入(移住)を希望する方や関心をもっている方の相談員として移住キャンペーン等に参加するとともに、主に市外への広報員として市の魅力や移住に関する情報の発信を行い、移住・交流の促進を図る。

構成：三田の魅力積極的に伝えたい方 20人(新規9人、継続11人)

任期：令和4年9月～令和5年8月

活動実績：意見交換会(オンライン、対面) 実施日：令和4年4月26日(火)、令和4年5月26日(木)、令和4年8月1日(月)、令和5年2月20日(月)

オンライン移住相談対応、移住フェアへの出展、三田市移住定住施策へのアドバイス

(4) 移住促進・WEB 広告配信

ア コンテンツ作成

三田市の子育て・教育環境について、教育長から教育施設の特徴と優位性、全国学力学習調査の結果等の情報を収集し、こうみん未来塾、教育の専門家、先輩移住者に移住検討者へ共感を生むためのインタビューを行った内容をもとに、記事・パンフレットを作成。

イ WEB 広告

【対象者】 子育て世帯及び子育て世帯予備軍

- ① 掲載期間：令和4年12月～令和5年3月
- ② 効果：6,467,531回表示、16,637回クリック
- ③ 掲載先：Instagram 広告や Google 検索広告等に配信

【対象者】 転居や住宅購入を検討している転入予定者

- ① 掲載期間：令和4年11月～令和5年2月
- ② 効果：3,068,029回表示、2,704回クリック
- ③ 掲載先：住宅情報サイト等に配信

ウ Instagram「うえるかむさんだ」の開設

Instagram「うえるかむさんだ」の開設で100,510人に情報をリーチし、238人のフォロワーを獲得。

エ 住宅情報誌に掲載

5.5万部配布（1/31～2/13）

(5) 地域活躍人材育成プログラム（三田スモカモス・プロジェクト）

市内の企業等が抱える課題解決を通じて大学生が地域社会との接点を持ち、大学生自身が三田市を舞台に「本当にやりたいこと」を発見・実現する方法を考え、実践に導くことにより、若者が地域に関わり三田に愛着を持つことで定住・Uターン志向の醸成につながるモデルの確立を目指す。

参加人数：23人

協力企業：23社

ア ワークショップ

日程：令和4年6月18日（土）、7月30日（土）、9月23日（金・祝）、10月30日（日）

イ 学生の市内企業 活動体験（8～9月）

ウ 成果発表会

日程：令和5年2月18日（土）

エ ワークショップ最終発表会

日程：令和5年3月4日（土）

(6) オンライン移住体験ツアー

ア 「なぜ、まちに住み、さとで農業を営む暮らしを実現できたのか？」

日程：令和4年7月23日（土）

内容：生活インフラが整ったまちエリアに住みながら、自然豊かなエリアで農業を営む超ユニークな暮らしを楽しむお二人の道のりとこれからの未来と一緒に紐解いていく対話型ツアー。

参加人数：34人

イ 「現実平日～三田は子育てしやすいってホント?!三田在住ママがお答えします!～」

日程：令和4年8月27日（土）

内容：三田市に移住し、子育て中の現役ママをゲストとしてお迎えして、実際の「三田での子育て環境」や「暮らし心地」のヒントを探しに行くツアー。

参加人数：12人

ウ 「五感を解き放つ暮らし方とは?～田舎に移り住むという選択～」

日程：令和4年9月24日（土）

内容：山と空と湖に囲まれた兵庫県三田市の小野地区の自然の魅力と、そこで暮らすことで見えてくる多彩な「色」をご体験いただけるツアー。

参加人数：25人

エ 「休日が待ちどおしい街、三田」

日程：令和5年2月25日（土）

内容：豊かな自然、グルメ、アート。どれもが身近に手軽に満喫できる休日が待ちどおしい。楽しい時間をどんどん増やしていける暮らし。そんな暮らしと一緒に妄想してみるツアー。

参加人数：15人

(7) NPO法人兵庫空き家相談センターとの連携

良質な住宅ストックが世代を超えてつながることで、オールドタウン化抑制と農村部の活性化を図るため、空き家・中古住宅(住宅ストック)の活用の推進を図る。

ア 住まいを考えるセミナー

①日程：令和4年7月16日（土）

場所：三田市総合福祉保健センター

参加人数：25人

個別相談件数：6件

②日程：令和4年10月1日（土）

場所：フラワータウン市民センター

参加人数：21人

個別相談件数：0件

③日程：令和5年1月28日（土）

場所：藍市民センター

参加人数：15人

個別相談件数：3件

イ 住まいの相談会

日程：令和4年4月20日（水）以降、毎月第3水曜日

年間相談件数：25件

ウ 国土交通省補助事業「住宅市場を活用した空き家対策モデル事業」

・空き家流通会議の開催：8回、現地打合せ3回

・フラワータウンフェスタブース出展：11月3日

・ファイナンス×ライフプラン作成・提案事業について、市への移住・リフォームに関する助成金の案内や金融機関の移住ローンなどを案内したチラシを作成

(8) 三田移住支援事業補助金

兵庫県と共同で国の交付金を活用した、東京圏（東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県）からの移住を伴う就業・起業家に対する補助金。

対象：東京圏から三田市へ移住し、該当の中小企業へ就職した者、起業した者

補助額：世帯の場合は100万円、単身の場合は50万円

実績：3件（2,900,000円）

(9) うえるかむ三田支援事業補助金

三田市への移住を検討するために、三田市に宿泊する者に対する補助金。

対象：東京圏（東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県）から、カムバックひょうご東京センターを通じて移住を目的に三田市を訪問する者

補助額：1人1泊につき10,000円（上限2泊、1世帯2人まで）

実績：1件（25,000円）

(10) 在宅ワーク環境整備補助金（令和3年6月1日施行）

在宅ワークに最適なまちとしてアピールし移住促進を図るため、住宅ストック（中古住宅）購入のインセンティブとして在宅ワーク環境の整備に要した費用に対する補助金。

対象：下記①～③のすべてを満たす者

①若年世帯（夫婦合計80歳未満）又は子育て世帯、40歳未満の独身者

②市内の中古住宅購入者（中古の一戸建て又は集合住宅）

③市外からの移住者かつ移住相談窓口の経由者

補助額：補助率1/2、上限25万円

実績：3件（699,000円）

(11) フラワータウン住宅除却費補助金（令和4年8月1日施行）

移住・定住施策の一環として、フラワータウン地区をモデル地区として、若年世帯・子育て世帯が既存住宅を除却し、住宅を新築する場合、住宅除却費への補助金。

対象：下記①、②を満たす者

① 若年世帯（夫婦合計80歳未満）又は子育て世帯

② 補助金の交付確定後2年以内に居住すること

補助額：補助率1/2、上限30万円

実績：2件（600,000円）

スマートシティ推進課

1 さんだ里山スマートシティに係る企画、立案及び総合調整に関すること。

(1) さんだ里山スマートシティの推進に関すること

- ア スマートシティ・デジタル推進本部（庁内推進体制）会議の開催
本部長：市長、副本部長：副市長（CIO）、本部員：政策会議出席者
開催回数：計3回
- イ 庁内スマートシティセミナーの開催
開催回数：計3回
- ウ 神戸大学大学院（ITスペシャリストコース）との取組み
 - ・ITスペシャリストコース（課題解決型学習PBL）における課題提供
 - ・ゼロカーボンアプリの実証に関する共同研究事業
 - ・すごろくアプリの実証に関する共同研究事業
- エ 遠隔相談窓口サービス「リモート市役所」実証実験
遠隔相談専用のボックスから市役所本庁の職員とオンライン相談が出来る仕組みについての実証実験
設置場所：①ウッディタウン市民センター ②藍市民センター
実験開始：①令和4年2月～8月 ②令和4年9月～12月
- オ 市民参加プラットフォーム実証実験
市民等がオンライン上で時間や場所の制限を受けず、「できる時に、できる方法で」様々な取組みに参加することや、活動している人を応援することのできる仕組みについて実証実験
- カ 自動車走行データを活用したスマートシティ推進事業
損害保険会社が顧客から収集した自動車走行データを活用して、市内の路面で痛んでいる箇所がないか等を調べる仕組みの実証実験
- キ 地域情報共有アプリ
地域で行われているイベントや催し、地域の魅力・情報などを知ることができるアプリを導入
- ク デジタル活用サポート事業（スマホ教室）
通信事業者等と連携したスマホ教室の企画調整・実施
 - ・市内各ショップでのスマホ教室の実施
 - ・地域団体の役員等を対象としたスマホ講師の派遣
 - ・はじめて触るスマホ教室
 - ・スマホサポーター養成講座
 - ・学生が講師となりマンツーマンで相談できるスマホ相談会の開催

(2) さんだ里山スマートシティ官民共創プラットフォームの設置・運営に関すること

- ア 会員募集及び情報収集・提供に関すること
令和4年度末時点会員数 計：71団体

内訳 共創会員：52団体 一般会員：19団体

イ 官民共創プラットフォーム運営委員会

市、企業、団体等から委員を選出。さんだ里山プラットフォームの運営に関する協議を行う。

委員数：8者（市含む）

開催回数：計1回

ウ スマートシティ分野別部会の設置推進

令和4年度より全てのスマートシティ分野で実証事業や実装を実施

エ スマートシティセミナーの開催

構想策定を記念してスマートシティ推進への理解及びプラットフォーム会員間の共創の促進を目的に開催（現地とオンラインのハイブリッド開催）

開催回数：1回 参加者：約110名

※参加者数は、オンラインでの途中参加等もあるため概数

デジタル戦略課

1 情報政策の企画、立案及び推進に関すること

- (1) R P Aシステム再構築
- (2) コンピュータウイルス対策ソフト環境再構築
- (3) 兵庫県電子自治体推進協議会
 - ・ 県下市町共同で効率的な電子自治体の推進を図るための協議
 - ・ 自治体情報セキュリティの抜本的強化を図るための協議
- (4) 新人研修（グループウェア、情報セキュリティ研修）
- (5) 外部専門研修（情報セキュリティ）
- (6) D X推進研修（D X研修、E B P M研修、R P A操作研修）

2 情報システムの開発・導入、運用管理及びこれらに係る指導並びに助言に関すること

- (1) 番号制度改正に伴うシステム改修
 - ・ 番号連携サーバー
 - ・ 健康管理
 - ・ 児童手当、児童扶養手当
- (2) 住民基本台帳関係システム
（住民記録、印鑑登録、国民年金、選挙、教育関連、住基ネット）
- (3) 税情報関係システム
（市県民税、固定資産税、軽自動車税、国民健康保険税、法人市民税、税収納、滞納繰越管理等）
- (4) 福祉・健康システム
（国民健康保険、後期高齢者医療、児童手当、児童扶養手当、介護保険、生活保護、障害福祉、健康管理）
- (5) 財務会計関係システム
（予算編成、執行・歳入歳出管理、予算管理）
- (6) グループウェア・インターネットシステム
（電子メール、会議室予約、スケジュール管理、庁内電子掲示板、インターネット仮想化、ビジネスチャット等）
- (7) その他
（人事給与、人事評価、就業管理、戸籍・除籍、契約業者管理等）
- (8) マイナンバー制度における情報連携の運用
- (9) 担当課からの依頼に基づく業務処理件数
（定例的な処理－2, 0 4 2 件、プログラム開発変更を伴うもの－1 5 件）
- (10) 廃棄パソコン等の売払い（計1 8 3 台、9 0, 5 0 5 円）

3 地域イントラネットワークシステムの運用管理に関すること

- (1) 高速ネットワークの維持管理

幹線ループ 1 Gbps、支線ネットワーク 学校 1 Gbps 学校以外 1 0 0 Mbps
 主な公共施設（1 8 ヶ所）及び市立小中学校（2 8 ヶ所）に接続

(2) 公共施設案内予約システム

対象施設（体育施設 5 ヶ所、文化施設 1 3 ヶ所）

(3) 議会本会議中継配信システム（各市民センター等へ実況中継）

(4) 教職員学校備品管理システム

(5) 教職員校務用資産管理システム

(6) 教職員校務用グループウェア

(7) 校務支援システム

4 情報セキュリティ対策の推進に関すること

(1) 情報セキュリティ推進会議

ア 情報セキュリティ対策実施計画の策定及び実施状況の確認

(2) 情報セキュリティ対策（人的、技術的、物理的）の実施及び推進

ア e-ラーニングによる情報セキュリティ研修【履修者延べ 1, 0 7 8 名】

イ 情報セキュリティオンライン動画研修【受講者 6 9 名】

ウ 情報インシデント対応研修【受講者 3 2 名】

エ 職場点検

5 その他

(1) 設置台数（R5.3.31 現在）

	庁内ネットワーク	地域イントラ（行政系）
サーバ	1 3 0 台	2 6 台
パソコン	1, 3 9 3 台	4 9 台

(2) 電子申請システム利用実績

ア 電子申請システム（※令和 3 年 1 月より開始）

	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
手続数	1 0 手続	1 3 7 手続	2 0 7 手続
利用件数	1 1 2 件	4 4, 0 0 5 件	4 2, 8 6 6 件

イ ぴったりサービス

	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
手続数	1 1 手続	1 1 手続	2 5 手続
利用件数	1 0 0 件	1 8 5 件	1 2 件

ウ ホームページからのメールフォームによる申請

	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
手続数	1 手続	1 手続	令和 4 年度より 電子申請システムへ移行
利用件数	5 1 件	9 0 件	

(3) 三田市施設予約案内システム利用実績（予約申込み件数）

予約方法	令和2年度	令和3年度	令和4年度（割合）
職員端末	42,451件	46,621件	52,627件（34.3%）
インターネット	89,150件	99,427件	93,601件（61.0%）
携帯電話	4,484件	3,921件	4,890件（3.2%）
街頭端末	3,131件	2,723件	2,399件（1.6%）
合計	139,216件	152,692件	153,517件（100%）

(4) オープンデータ公開実績

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
公開オープンデータ	158件	169件	210件

未来戦略室

アウトドア交流推進課

1 アウトドア交流都市の推進

里山をはじめとした三田の自然や地域に点在する種々様々な資源を活用した屋外活動等を通じて、地域や人とのつながりを創出し、市街化調整区域内の活性化を図るまちづくりを推進する。

2 令和4年度の取り組み

(1)三田市野外活動センターの再生

令和4年8月 公民共創による再生に取り組む事業者募集の実施

令和4年11月 公民共創による再生に取り組む優先交渉権者の決定

審 査 結 果	優先交渉権者	株式会社ネイチャーライブ
	住 所	大阪府大阪市西区靱本町一丁目16番8号
	提 案 内 容	地域の魅力となり、市のブランド価値を飛躍的に向上させ、①交流人口の増加、②アウトドア都市への飛躍、③シビックプライドの醸成を達成することを目指した日帰り・宿泊を含むグランピング・アウトドア体験事業

地域医療推進室
地域医療推進課

1 市民病院改革プラン推進事業

三田市民病院改革プランに基づき、市民病院の経営形態の見直し並びに、再編・ネットワーク化についての検討を進めた。

(1) 三田・北神地域の急性期医療確保方策に関する共同記者会見（令和4年6月2日）
 三田市（三田市民病院）、済生会兵庫県病院及び神戸市で共同記者会見を行い、三田市民病院と済生会兵庫県病院が再編統合して新病院を整備することにより、三田・北神地域の急性期医療の充実を目指すこととした。

(2) 三田・北神地域の急性期医療の確保に関する基本方針策定（令和4年6月2日）
 三田・北神地域の急性期医療を確保するための基本的な方向性を示した基本方針を策定した。

(3) 「三田・北神地域の急性期医療の確保に関する基本構想（案）」に関する三田市政への市民参加条例に基づく市民の意見を聴く手続き

①パブリックコメント

ア. 実施期間

令和4年9月28日（水）～11月7日（月）

イ. 閲覧方法

地域医療推進課、暮らしの情報コーナー、市民センター、まちづくり協働センター、市ホームページでの閲覧

ウ. 意見の提出人数及び件数

	FAX・郵送・窓口持参	メール	ロゴフォーム	合計
提出人数	345	41	31	417
提出件数	532	151	122	805

	三田市民	神戸市民	それ以外	未記載	合計
提出人数	363	26	19	9	417
提出件数	673	61	60	11	805

エ. 意見の内訳

意見の内訳	意見数
基本構想（案）に反映させていただいた意見	1
基本構想（案）に反映済みの意見	4
今後の参考にさせていただく意見	21
その他の意見	779

②意見交換会

ア. 開催期間

令和4年10月1日（土）～11月6日（日）

イ. 実施回数

6回

ウ. 参加人数

248人

エ. 開催回数及び参加人数

日	時間	人数	場所
10/1	10時～11時30分	64	フラワータウン市民センター
10/10	10時～11時30分	22	有馬富士共生センター
10/22	10時～11時30分	84	ウッディタウン市民センター
10/23	10時～11時30分	22	広野市民センター
10/30	10時～11時30分	31	さんだ市民センター
11/6	14時～15時30分	25	まちづくり協働センター
合計		248	

(4) 「三田・北神地域の急性期医療の確保に関する基本構想」の策定（令和4年12月）

三田・北神地域の急性期医療の確保に関する基本方針に基づき、三田・北神地域の急性期医療を確保するための役割分担、財政負担、整備候補地や新病院に関する基本的な事項などを示した基本構想を策定した。

(5) 三田市民病院と済生会兵庫県病院の再編統合に係る基本協定書の締結（令和5年3月31日）

三田市、三田市民病院、社会福祉法人^{恩賜財団}済生会支部兵庫県済生会及び神戸市は、三田市民病院と済生会兵庫県病院が再編統合して新たな基幹病院の整備に向けて協議を進めていくにあたり、その方針を確認するために、基本協定を締結した。